

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 金 4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション English Communication		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	M14	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 担当教員: 西原 真弓 /Eメールアドレス:nishihara@kwassui.ac.jp /研究室:非常勤講師室 /オフィシアワー:授業前後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: リスニング能力の向上をめざし、なぜリスニングが難しいかを理解し、訓練を積んでいく。コミュニケーションには受信した情報を正しく理解し、それに対して、情報を的確に伝える能力が必要となる。この授業では、それらの能力を身につけることをねらいとする。</p> <p>授業方法: テキストを中心に、問題解決をしていくと共に、ペアワークやグループワークを通してリスニング力とスピーキング力を養う。また、情報の送受信方法は書面にても行われるため、リーディング、ライティング活動も行う。</p> <p>授業到達目標: テキストで提示されている状況において、確実に自分で情報を取り込み、発言ができるようにする。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 英語という言葉を知識の領域を越え、自己実現のための受信・発信の道具として使いこなせるように、指定された状況において、世界における様々な国の人による英語を理解できるようにする。授業内でできるだけたくさんのコミュニケーション活動を取り入れ、積極的に英語を道具として多様な問題解決を行う。</p> <p>第1回 Getting to know each other 第2回 Pastime 第3回 Invitation &amp; Appointment 第4回 Telephone Conversation 第5回 Making Small Talk 第6回 Intentions 第7回 Permission &amp; Suggestions 第8回 Commenting &amp; Expressing Feelings 第9回 Informing &amp; Encouraging 第10回 Favor Asking 第11回 Survival English 第12回 Comparative Cultures 第13回 Comparative cultures 第14回 Returnees lives 第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Tadashi Shiozawa & Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂		
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、授業・活動への積極的参加態度(30%)をもとに総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)	毎回授業に出席すること。指示された活動に積極的に関わること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			